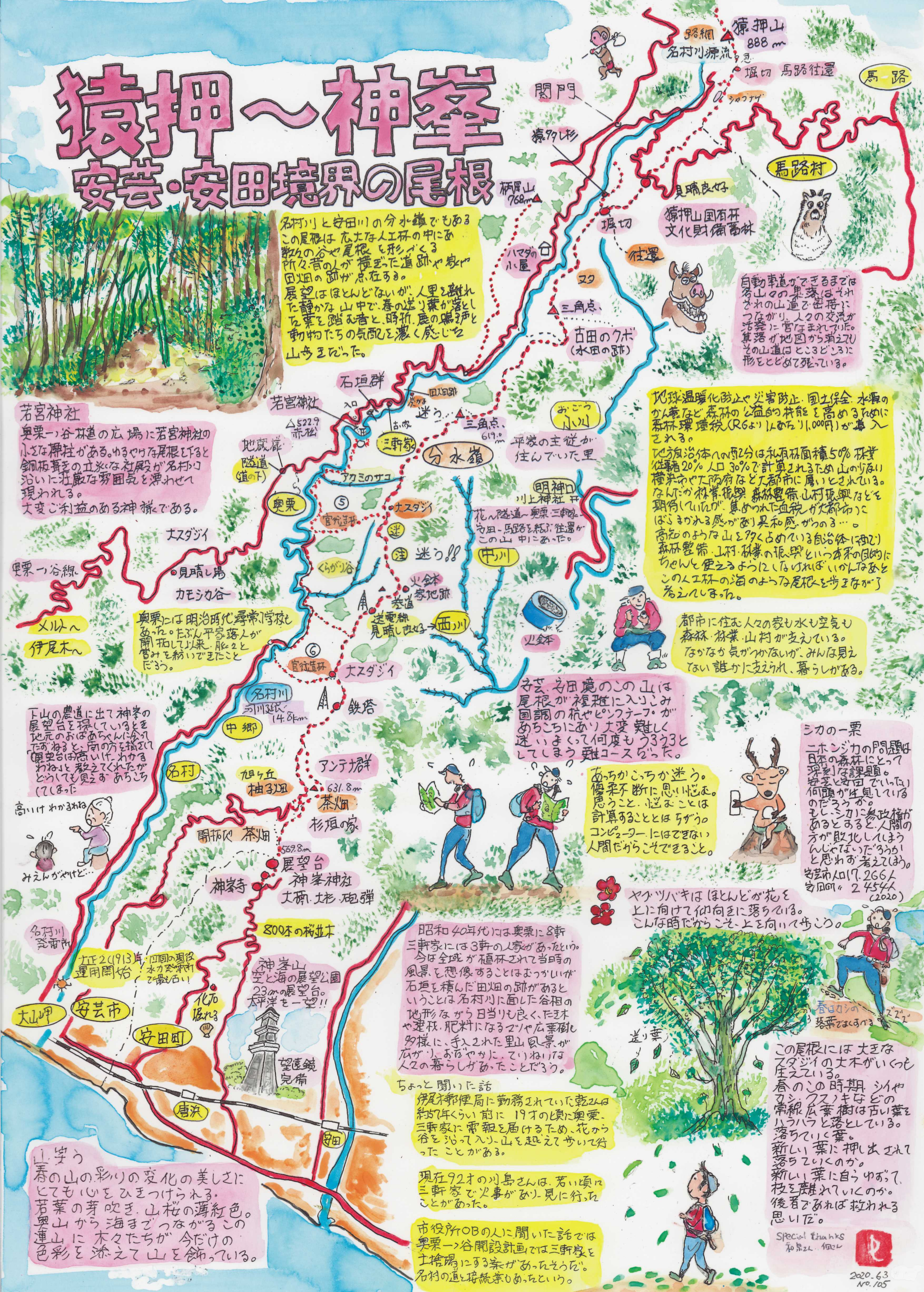
猿押～神峯
安芸・安田境界の尾根



名村川と安田川の分水嶺でもあるこの尾根は広大な人工林の中にあ数々の谷や尾根を形づくる所々.昔の人が横ぎった道跡や家や田畑の跡が点在する。
展望はほとんどないが、人里を離れた静かな山中で、春の送り葉が落とした葉を踏む音と、時折.鹿の鳴き声と動物たちの気配を濃く感じた山歩きだった。

若宮神社

奥栗一ノ谷林道の広場に若宮神社の小さな標柱がある。ゆるやかな尾根を下ると銅板葺きの立派な社殿が名村川沿いに荘厳な雰囲気を漂わせて現われる。
大変ご利益のある神様である。

自動車道ができるまでは各山々の集落はそれぞれの山道で密接につながり.人々の交流が活発に営なまれていた。集落が地図から消えてもその山道はところどころに形をとどめて残っている。

地球温暖化防止や災害防止.国土保全.水源のかん養など森林の公益的機能を高めるために森林環境税(R6より1人あたり1,000円)が導入される。
地方自治体への配分は私有林面積50% 林業従事者20% 人口30%で計算されるため山の少ない横浜市や大阪府など大都市に厚いとされている。なんだか林業振興 森林整備.山村振興などを期待していたが、集められた血税が大都市にばらまかれる感があり異和感がつのる…。
高知のような山を多く占めている自治体に配り森林整備.山村.林業の振興という本来の目的にちゃんと使えるようにしなければいかんなあとこの人工林の海のような尾根を歩きながら考えてしまった。

奥栗には明治時代尋常小学校もあった。たぶん平家落人が開拓して以来.脈々と営みを紡いできたことだろう。

下山の農道に出て神峯の展望台を探しているとき地元のおばあちゃんに会ってたずねると、南の方を指さして「展望台は高いけ.わかるわね」と教えてくれたがどうしても見えずあちこちしてしまった

都市に住む人々の家も水も空気も森林.林業.山村が支えている。
なかなか気がつかないが、みんな見えない誰かに支えられ、暮らしがある。

安芸.安田境のこの山は尾根が複雑に入りこみ国調の杭やピンクテープがあちこちにあり大変難しく迷いまくって何度もうろうろとしてしまう難コースだった。

あっちかこっちか迷う。
優柔不断に思い悩む。
思うこと.悩むことは計算することとはちがう。
コンピューター.にはできない人間だからこそできること。

シカの一票

ニホンジカの問題は日本の森林にとって深刻な課題。
安芸と安田でいったい何頭が生息しているのだろうか。
もし.シカに参政権があるとすると.人間の方が敗北してしまうんじゃないだろうか!と思わず考えてしまう。
安芸市人口17.266人
安田町〃 2454人
(2020)

ヤブツバキはほとんどが花を上に向けて仰向きに落ちている。
こんな時だからこそ.上を向いて歩こう。

昭和40年代には奥栗に8軒三軒家には3軒の人家があったという。
今は全域が植林されて当時の風景.を想像することはむつかしいが石垣を積んだ田畑の跡があるということは名村川に面した谷相の地形ながら日当りも良く、たき木や建材.肥料になるマツや広葉樹も多様に、手入された里山風景.が広がり.おだやかに.ていねいな人々の暮らしがあったことだろう。

ちょっと聞いた話

伊尾木郵便局に勤務されていた乾さんは約57年くらい前に19才の頃に奥栗.三軒家に電報を届けるため、花から谷を沿って入り.山を越えて歩いて行ったことがある。

現在92才の川島さんは.若い頃に三軒家で火事があり.見に行ったことがあった。

市役所OBの人に聞いた話では奥栗一ノ谷開設計画では三軒家を土捨場にする案があったそうだ。名村の道と接続案もあったという。

山笑う

春の山の彩りの変化の美しさにとても心をひきつけられる。
若葉の芽吹き.山桜の薄紅色。
奥山から海までつながるこの連山に木々たちが今だけの色彩を添えて山を飾っている。

この尾根には大きなスダジイの大木がいくつも生えている。
春のこの時期 シイやカシ.クスノキなどの常緑広葉樹は古い葉をハラハラと落としている。
落ちていく葉。
新しい葉に押し出されて落ちていくのか。
新しい葉に自らゆずって、枝を離れていくのか。
後者であれば救われる思いだ。

Special thanks
和泉さん.何さん

2020.6.3
No.105

猿押山
888m
路網
名村川源流
急
堀切 馬路往還
シャクナゲ
馬路
関門
猿タタレ杉
馬路村
見晴良好
猿押山国有林
文化財備蓄林
柄尾山
768m
堀切
往還
ハマダの小屋
ヌタ
三角点、
古田のクボ
(水田の跡)
石垣群
田畑跡
炭がま
若宮神社
入口
古家
迷う
三角点、
619.0m
△522.9
赤松
三軒家
おごう
小川
平家の主従が住んでいた里
分水嶺
地蔵様
隧道
(道の下)
アカミのサコ
明神口
川上神社
奥栗
⑤
官行造林
大スダジイ
迷
注
迷う!!
花～隧道～奥栗.三軒家～安田～馬路を結ぶ往還がこの山中にあった。
くらがり谷
中ノ川
大スダジイ
奥栗一ノ谷線
見晴し場
カモシカ谷
火鉢
家地跡
参道
送電線
見晴し良好
西ノ川
火鉢
メルト～
伊尾木～
⑥
官行造林
大スダジイ
鉄塔
名村川
河川延長
14.8km
中郷
アンテナ群
631.8m
名村
旭ヶ丘
柚子畑
茶畑
杉垣の家
開拓地 茶畑
569.8m
展望台
神峯神社
大楠.大杉.砲弾
神峯寺
高いけ わかるわね
みえんがやけど…
800本の桜並木
名村川発電所
大正2(1913)年運用開始
四国の現役水力発電所で最も古い
化石堀れる
神峯山
空と海の展望公園
23mの展望台。
太平洋を一望!!
望遠鏡完備
大山岬
安芸市
安田町
唐浜
安田
送り葉
春はカシの落葉でよくすべる
ズズズ